



Vol.19
4月

2025年4月1日発行



毎月ついたち
しがプラチャレンジの日

プラチャレ通信

毎月一日は「しがプラチャレンジの日」

滋賀県では、毎月一日の「しがプラチャレンジの日」に合わせて、その月に県民のみなさんに実践していただきたいプラスチックごみ削減に向けたチャレンジ(プラチャレ)をこの通信でお知らせしています。今月のプラチャレの取組を、ぜひ実践してみましょう!

4月のプラチャレテーマは「マイバッグ・マイボトル・マイカトラリーを持とう!!」

プラスチック製品は便利ですが、環境中に流出したプラスチックごみは環境に深刻な影響を及ぼしています。特にレジ袋やペットボトルは使い捨てが多く、ごみ問題の原因の一つです。これらを減らすために、マイバッグ・マイボトル・マイカトラリーを活用してみませんか?

プラスチックごみの問題とは?

プラスチックごみによる問題は様々です。例えば、散乱したプラスチックごみによる湖岸の景観の悪化や、プラスチックの製造による石油資源枯渇などがあります。さらに、プラスチックごみが波や紫外線等の影響により小さくなった、マイクロプラスチックによる生態系への影響も懸念されています。



私たちができること **マイバッグ**

レジ袋を使わない生活

使い捨てのレジ袋の代わりに、布製やリサイクル素材のマイバッグを使いましょう。

なぜレジ袋の無料配布がなくなったの?

プラスチックごみの様々な問題を受け、令和2年7月1日から、全国でプラスチック製買物袋(レジ袋)の有料化が実施されました。これは、レジ袋が本当に必要か考え、ライフスタイルを見直すきっかけとなることを目的としています。



プロジェクトキャラクター
こがみちょういち
湖神挑一

私たちができること **マイボトル**

ペットボトルごみの削減

マイボトルを持参することで、好きな飲み物を手軽に持ち運びつつ、ペットボトルの削減につながります。

私たちができること **マイカトラリー**

使い捨てカトラリーを減らそう

外出やテイクアウトの際は、使い捨てのプラスチック製のフォークやスプーンの代わりに、マイカトラリーを使いましょう。



<ご意見・お問合わせ先>

滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課 [TEL]077-528-3477 [FAX]077-528-4845